学校番号	206

令和２年度　英語

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第２学年	いいずな書店　Vintage　英文法・語法 第一学習者 Attainable English Expression Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現の授業は、英語表現Ｉで身につけた表現方法や文法知識を使って、さらに高度な表現方法を学習する授業です。その表現方法や知識を基に、日常に関することや、スピーチコンテストの原稿を書くことで、自分の意見や考えを論理的に整理し適切な段落構成を使って書く力を養成します。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「英語理解」（４単位）及び「英語表現Ⅱ／英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
聞いたことや読んだことに関して要点をまとめ述べることができる。また、相手と話し合ったり、意見交換したりすることができる。	英語理解 ･ペアディスカッションでのピア評価、自己評価 英語表現Ⅱ ・スピーチ､プレゼンテーションの評価	聞いたことや読んだことに関して要点をまとめ、さらに自分の考えや意見を簡潔に書くことができる。	英語理解 ･定期考査におけるライティングテスト 英語表現Ⅱ ･定期考査におけるライティングテスト	日常社会の話題に関する対話や報告を聞いて、情報や考えの概要と要点を捉えることができる。	英語理解 ・リスニング課題の評価 英語表現Ⅱ ・定期考査におけるリスニングテスト	日常社会の話題に関する説明や物語などを即座に読み取り､情報や考えを整理して理解することができる。	英語理解 ･定期考査における初見の実力問題 ･音読テスト

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
(配当時間)					
(配当時間) Unit1 (26 時間)	ライティングのための文法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		相手に伝える内容によって、正しく文法を使用できる（主語の選択、(助) 動詞の時制の理解など)	左記の文法を用いて自分の考えを明確にして相手に伝える。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		・助動詞の使いわけができる。 ・１つの表現につき様々な比較表現を用いて表すことができる。	・助動詞の様々な用法。 ・比較表現を用いた様々なイディオム。	学習内容の表現を用いて、指示された文章を簡潔に書くことができる。	ワークシートを提出させ、その内容を評価する。
		「英語理解の能力」			
		未来完了，未来進行形，時・条件を表す副詞節が使われている文を理解でき，また，なぜそれが使われているか理解できる。	注意すべき時制	学習内容を深く理解し、さまざまな表現に応用することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、学習内容を問う問題を出題し、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		健康、旅行、スポーツなど身近な出来事について他国の事情を理解できる。	左記について書かれた英文の内容を理解して、日本文化と比較する。	日本と他国の文化を比較する英文を書くことができる。	定期テストで出題し、英文を書けているか確認する。
Unit2 (13 時間)	機能	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		原因、推量、感情、計画など様々な状況を伝えるための文法を学ぶ。	左記の内容について自分の考えを明確にして相手に伝える。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		接続詞、受動態、イディオム、不定詞をしっかりと使い分けて、会話を作る。	接続詞、受動態、イディオム、不定詞の性質の理解と使い方	学習内容の表現を用いて、指示された文章を簡潔に書くことができる。	ワークシートを提出させ、その内容を評価する。
		「英語理解の能力」			
		ある感情表現を伝えるために用いる表現方法や文法を理解できる。	動詞の過去分詞形や形容詞を用いた感情表現の理解。	学習内容を深く理解し、さまざまな表現に応用することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、学習内容を問う問題を出題し、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		他国の交通事情、先進技術、芸術、文学を学ぶ。	左記の現状や時事を、ニュースなどを通して学ぶ。	ニュースなどを読み取り、簡潔な英文でまとめることができる。	原稿を回収して添削する。

(配当時間)					
Section 3 (11時間)	パラグラフライティング	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		段落の構成と、それらをつなぐバリエーションに富んだ接続語句の上手な利用方法を学ぶ。	Finally,Therefore, Anyway などの接続副詞など。	ペア・ワークにおいて、先の内容を用いた会話を行う。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		自分の意見を、起承転結を明確にしながら書くことができる	時間配列や空間配列を表す表現や、強調表現、例示や追加を表す表現。	学習内容の表現を用いて、指示された文章を簡潔に書くことができる。	ワークシートを提出させ、その内容を評価する。
		「英語理解の能力」			
		文章における主題文を識別できる。各段落におけるトピックを見つけることができる。	主題文を探すための方法や、ある単語とそれを説明している文の理解。	学習内容を深く理解し、さまざまな表現に応用することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、学習内容を問う問題を出題し、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		形容詞句や節を使って、主題の説明をより詳しくスムーズにできるようになる	名詞の後ろから修飾する形容詞句や関係代名詞、関係副詞など。	主題と、それをスムーズに説明する英文を作成し書く。	定期テストで自由英作文を出題し、知識が身についているかを判断する。
Unit4 (4時間)	公における英語の使用	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートを行う。	左記の原稿をペアで考えて書く。	ペア・ワークにおいて、互いに協力し試行錯誤しながら記入する。	ペアでの活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		話題を設定する、構想を練る、反論を考える、意見への質問を考える、練習し発表する。	導入、本論、結論を伝えるための表現方法を学ぶ。	学習内容の表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。	原稿を回収して文法、語法、文章構成を添削する。
		「英語理解の能力」			
		導入、本論、結論、反論、質問、具体例などを書くために必要な表現を理解する。	様々な表現例。	左記の表現を用いてたくさんの英文を書き、クラスで発表する。	原稿を回収して文法、語法、文章構成を添削する。発表において、身振り手振りやイントネーションなどを確認する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		土曜授業、SNS、日本の観光名所などディベートなどで主題になるテーマの実情を学ぶ。	観光公害やスマホ依存の実態など。	左記の内容を自分で調べて英語でまとめ、自分の言葉で説明できる。	原稿を回収したりペアでの活動を観察して知識が身についているかを判断する。